

記入例

- * 申請責任者は本申請に対し責任を持つ組織の責任者としてください
- * 「委任状」を添付した場合以降の手続き（変更届等）は委任先が代行可
- * 本制度にはじめて申請する場合は、事前相談が必要です

CCM-02-A 様式1-1

認証申請書 (TOE) ¹

2000年00月00日 提出日

独立行政法人情報処理推進機構
理事長 齊藤 裕 殿

社印または申請者の名称が入った役職印 必須

住所 東京都〇〇区△△三丁目2番1号
申請者の名称 〇〇産業株式会社
所属、役職 情報セキュリティ技術部 課長
申請責任者 責任 太郎

「ITセキュリティ認証等に関する要求事項」(CCM-02) に従って記入する必要があります。
記名のうえ申請責任者印又は役職印を押印または署名

TOE の名称 : 情報漏えい防止セキュリティプラットフォーム	
バージョン : V1.00	
申請担当者名 ² (所属) : 申請 二郎 (情報セキュリティ技術部) 連絡先 (〒、住所、Tel、E-mail) : 〒xxx-xxxx 東京都〇〇区△△三丁目2番1号 Tel : xx-xxxx-xxxx E-mail : shinsei-jiro@####.co.jp	
評価機関名 : △△評価株式会社 評価センター 責任者名 : 責任三郎 (担当 : 評価 四郎) 連絡先 (Tel、E-mail) : Tel : xx-xxxx-xxxx E-mail : s-hyouka@####.co.jp	
開発者名称 ³ : 〇〇通信株式会社 責任者名 (所属) : 開発 五郎 (開発部) 連絡先 (〒、住所、Tel、E-mail) : 〒xxx-xxxx 〇〇県XX市△△二丁目1番地 Tel : xx-xxxx-xxxx E-mail : goro-kaiatsu@xyyy.co.jp	
上記以外の評価用提供物件の提供者 ⁴ :	* 提供者ありの場合 秘密保持契約書 (様式 12-2) 2通 要提出
名称 : ××技術株式会社 責任者名 (所属) : 提供 六郎 (取締役社長) 担当 : 物件 七郎 (技術本部) 連絡先(〒、住所、Tel、E-mail) : 〒xxx-xxxx 東京都〇〇区△△四丁目2番3号 Tel : xx-xxxx-xxxx E-mail : bukken@####.co.jp	
■ 「申請者の名称」を【評価スポンサーの名称】として記載する	
評価基準 ⁵	■ CC:2022 R1 (日本語版) 、 CEM:2022 R1 (日本語版)
評価方法	<input type="checkbox"/> CC:2022 R1 (英語版) 、 CEM:2022 R1 (英語版)
	<input type="checkbox"/> CC V3.1 R5 (日本語版) 、 CEM V3.1R5 (日本語版)

- 本申請の各項目は認証書等にそのまま転記されますので、正確に記入してください。また、認証申請手数料の請求先が申請者と異なる場合は、事前にご相談ください。
- 申請業務に関し、認証機関との実務を担当する方の氏名及び連絡先を記入してください。必要に応じて副(1名)を設けることができます。
- 製品の開発者が申請者と同じ場合も記入してください。
- コンジット評価等で申請者とは別法人より秘密情報の提供があり、秘密保持契約を締結する必要がある場合、すべての提供者を記入してください。
- CC/CEM V3.1 R5 を適用する認証申請は 2024 年 5 月 31 日(完全適合を要求する PP への適合を主張する TOE の場合は 2025 年 11 月 30 日)まで申請可能です。また、CC/CEM 以外の参照する評価方法等がある場合は、「その他」に評価方法の参照文書名を記入してください。

* 認証機関記入欄を使用しますのでフッターは削除しないでください

(認証機関記入欄)

受付番号

(2023-11)

<input type="checkbox"/> CC V3.1 R5 (英語版) 、 CEM V3.1R5 (英語版) <input type="checkbox"/> その他 ()		<input checked="" type="checkbox"/> その他の場合、参照文書 (1部) 要提出
<input type="checkbox"/> cPP 適合 名称、バージョン及び認証識別 :		<input checked="" type="checkbox"/> 相当する保証パッケージがない場合 ST または PP とともに 要事前相談
<input checked="" type="checkbox"/> cPP 適合以外 保証パッケージ (存在する場合) : EAL2 + ALC_FLR.2 適合する既認証 PP 名 (存在する場合) : なし		
製品分野 ⁶ : <input checked="" type="checkbox"/> ソフトウェア <input type="checkbox"/> ハードウェア (スマートカード等)		
認証取得の目的 (主となるものひとつを選択) ⁷ : 政府調達 <input checked="" type="checkbox"/> 政府・自治体調達 (調達機関 : ○○○○省) <input type="checkbox"/> 海外政府調達 (調達国 :) 政府調達以外 <input type="checkbox"/> 民需 (調達者 :) <input type="checkbox"/> その他 (目的 :)		<input checked="" type="checkbox"/> 調達を目的としない場合 その他に目的を記入
関連する TOE ⁸	<input type="checkbox"/> 有 認証識別 (評価中の場合は受付番号) : TOE の名称 : <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 類似製品や同シリーズの製品の評価・認証実績
TOE の概要 (別紙添付も可) : 情報漏えい防止セキュリティプラットフォームは、社内ネットワークの利用者識別認証機能により、許可された利用者に対して社内データベースや各種サーバへのアクセスを許可するとともに、アクセスの記録を監査証跡として保存する。保護された情報を持ち出す際は持ち出し許可の有無を検査し、情報を暗号化するとともに USB キーによる物理的な鍵と暗証番号による二重の保護を可能としている。監査証跡の確認を容易にするため、不正なアクセスについて設定を行うことにより警告を管理者に送る機能を提供する。		
認証情報の公開 ⁹ (いずれかを選択) : <input type="checkbox"/> 1 TOE の概要、申請者名 ¹⁰ 及び評価機関名のみ公開する。 <input checked="" type="checkbox"/> 2 1の情報の他、ST 及び認証報告書を公開する (CCRA 相互承認対象)。 <input type="checkbox"/> 3 公開しない。		
法人格を証明できる書類の添付 (いずれかを選択) : <input checked="" type="checkbox"/> 本申請に添付 <input type="checkbox"/> 既申請案件で提出済み 申請受付日 : 年 月 日 受付番号 : <input type="checkbox"/> 同日申請別案件に添付		<input checked="" type="checkbox"/> 過去の申請時に提出済かつその受付日から2年以内の場合 当該案件の申請受付日及び受付番号を記入(本申請での添付不要) <input checked="" type="checkbox"/> 法人格証明書類の記載内容に変更がある場合は要再提出 <input checked="" type="checkbox"/> 同日に複数申請を行う場合 2件目以降の申請には添付不要

⁶ ハードウェア特有の攻撃手法及び脆弱性分析が求められる場合はハードウェアを選択してください。選択について不明な場合は、事前に認証機関に相談してください。

⁷ 本情報は公開されません。政府調達にそぐわない又は公共性が明確でない場合、申請を受け付けないことがあります。

⁸ 過去に申請者が申請した案件で、本申請と類似又は特に参考となるものがあれば記入してください。

⁹ 非公開で申請した情報は、公開への変更(3→2、3→1、1→2)ができませんので、ご注意ください。評価・認証中の情報公開を希望する場合は、「認証中案件の掲載依頼書」(CCM-02-A 様式 11)により依頼ください。「3」を選択した場合は、掲載依頼はできません。

¹⁰ 認証製品リストの「供給者」欄に記載されます。

